

1995.1.17

2024.1.1

防災と倫理

阪神・淡路大震災からの30年で日本の防災はどこまで前進したのか

阪神・淡路大震災から30年、日本の防災は常に更新され続けてきた。

しかし、2024年1月の能登半島地震では「阪神大震災と同じ状況が起きている」という声も聞こえる。

これらを踏まえつつ「人や社会にとって「善」い防災は何か」を問い、到達点・課題・将来のあり方を探求する。

日時／ 2025年 3月 10日 月 10時～17時

場所／ 人と防災未来センター こころのシアター

兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2

写真：人と防災未来センター

定員

100名

先着順 (WEB申込)

※車いす席あり



申し込みフォームは
こちらより

●主催 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

京都大学大学院文学研究科応用哲学・倫理学教育研究センター (CAPE)

●お問合せ 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5-2

研究部 池端 祐一朗 ☎078-262-5078 ikehatay@dri.ne.jp

●基調講演・プロフィール●



河田 恵昭

Yoshiaki Kawata

人と防災未来センター長

関西大学特別任命教授・社会安全研究センター長

京都大学名誉教授・関西大学名誉教授

●プログラム●

時間	テーマ	登壇者等	
10:00 10:50	基調講演	登壇者	河田 恵昭(人と防災未来センター・センター長)
11:00 12:00	鼎談:基調講演を受けて	登壇者	河田 恵昭(人と防災未来センター・センター長) 矢守 克也(京都大学防災研究所・副所長) 高見 隆(人と防災未来センター・副センター長)
		司会	松川杏寧(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・准教授)
12:00 13:00	昼休憩		
テーマセッション			
13:00 14:00	災害と防犯・治安	パネリスト	樋野 公宏(東京大学大学院工学系研究科・准教授) 南 貴久(人と防災未来センター・研究員) あんど う りす(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・大学院生)
		司会	中谷 友樹(東北大学大学院環境科学研究科・教授)
14:00 15:00	災害と医療・福祉	パネリスト	今中 雄一(京都大学大学院医学研究科・教授) 辻岡 綾(防災科学技術研究所・研究員) 木作 尚子(名古屋大学減災連携研究センター・特任准教授)
		司会	島津 和久(兵庫県立災害医療センター・救急部副部長)
15:00 16:00	災害と報道・記録・記憶	パネリスト	山崎 登(人と防災未来センター・上級研究員) 標葉 隆馬(大阪大学社会技術共創研究センター・准教授) 劉 永恩(在日本大韓国民団兵庫県地方本部・文教主任)
		司会	喜多 千草(京都大学大学院文学研究科・教授)
16:00 17:00	災害と倫理・法	パネリスト	児玉 聡(京都大学大学院文学研究科・教授) 池端 祐一郎(人と防災未来センター・研究員) 松村 圭悟(人と防災未来センター・研究員)
		司会	阪本 真由美(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・教授)